

資料⑤ 飛渡第一小学校 総合的な学習年間単元配当表												
	4月(3)	5月(3)	6月(4)	7月(3)	8・9月(4)	10月(3)	11月(4)	12月(2)	1月(3)	2月(3)	3月(3)	
行事	始業式・入学式 NRT 全国学力テスト 1年生を迎える会 自転車安全教室	ブナ林体験 運動会	三好園訪問 (ブール清掃) ブール開き	終業式 校内水泳大会 川遊びの会	パワーアップ教室 始業式 フリー参観 中条小馬拉ソン大会	親善陸上大会 校内馬拉ソン大会 文化祭 音楽交歓会	小中交流会 全校遠足 中条小児童会祭 修学旅行	終業式	校内書初め大会 アルペンスキー教室 わら細工・さいの神 津南中等入学試験	親善スキー大会 校内スキー大会	六送会 サケの旅立ちを祝う会 終業式 卒業式	
総合 70	野菜	○土作り ○苗植え(子どもと相談) <候補> じゃがいも、枝豆、さつまいも、トウモロコシ、なす、ピーマン、トマトなど		○野菜の世話 ・水やり、草取り、追肥		○収穫・販売・プレゼント ・地元直売所で販売する ・お年寄りとの交流でプレゼント ○秋野菜の苗植え <候補> 大根、ほうれん草など		○野菜の世話 ・水やり、草取り、追肥 ○収穫・販売・プレゼント ・地元直売所で販売する ・収益金の一部で老人ホームへのプレゼントを購入		○活動のまとめ ・これから飛渡地区でどのような取組が重要かを考え、発信する ・作文等で活動を振り返る ・リーフレットを作成・配付をする		○まとめ・地域への発信 ・「飛渡のほたる」の発刊
	米	○田おこし ○代かき	○田植え	○稲の世話 ・草取り ・水抜き ・観察		○稲刈り・精米 ・はざがけ ・脱穀 ・精米 ○飛渡地区の販路を調べる		○販売・プレゼント ・文化祭で来校者にプレゼント ・販売の仕方を考える ・とおか市で販売する ・収益金の一部で十日町病院へのプレゼントを購入		○活動のまとめ ・これから飛渡地区でどのような取組が重要かを考え、発信する ・作文等で活動を振り返る		○まとめ・地域への発信 ・「飛渡のほたる」の発刊
	ブナ林	○ブナ林体験 ・自分がやりたい活動を決める ・ブナ林の動植物を観察する ・ブナ林で遊ぶ ・ブナ林コンサートを行う ・作文等で活動を振り返る									○まとめ・地域への発信 ・「飛渡のほたる」の発刊	
	飛渡川	○飛渡川活動 ・川で遊ぶ ・生き物を調べる ・水質調査を行う ・ブナ林と川の水の関係を調べる ・調べたことを地域に発信する						○活動のまとめ ・これから飛渡地区でどのような取組が重要かを考え、発信する ・作文等で活動を振り返る ・リーフレットを作成・配付する			○まとめ・地域への発信 ・「飛渡のほたる」の発刊	
	サケ					○飼育準備 ・魚道の様子を観察する ・サケの遡上を観察する ・サケの飼育の仕方を調べる ・サケを飼育する物品を用意する		○サケの飼育 ・サケについて漁協の方の講話を聞く ・サケの飼育と成長の様子を観察する ・サケの漁獲量、経済効果、川や海の環境問題などを調べる ・サケの稚魚の放流を行う ・作文等で活動を振り返る ○まとめ・地域への発信 ・「飛渡のほたる」の発刊			○まとめ・地域への発信 ・「飛渡のほたる」の発刊	

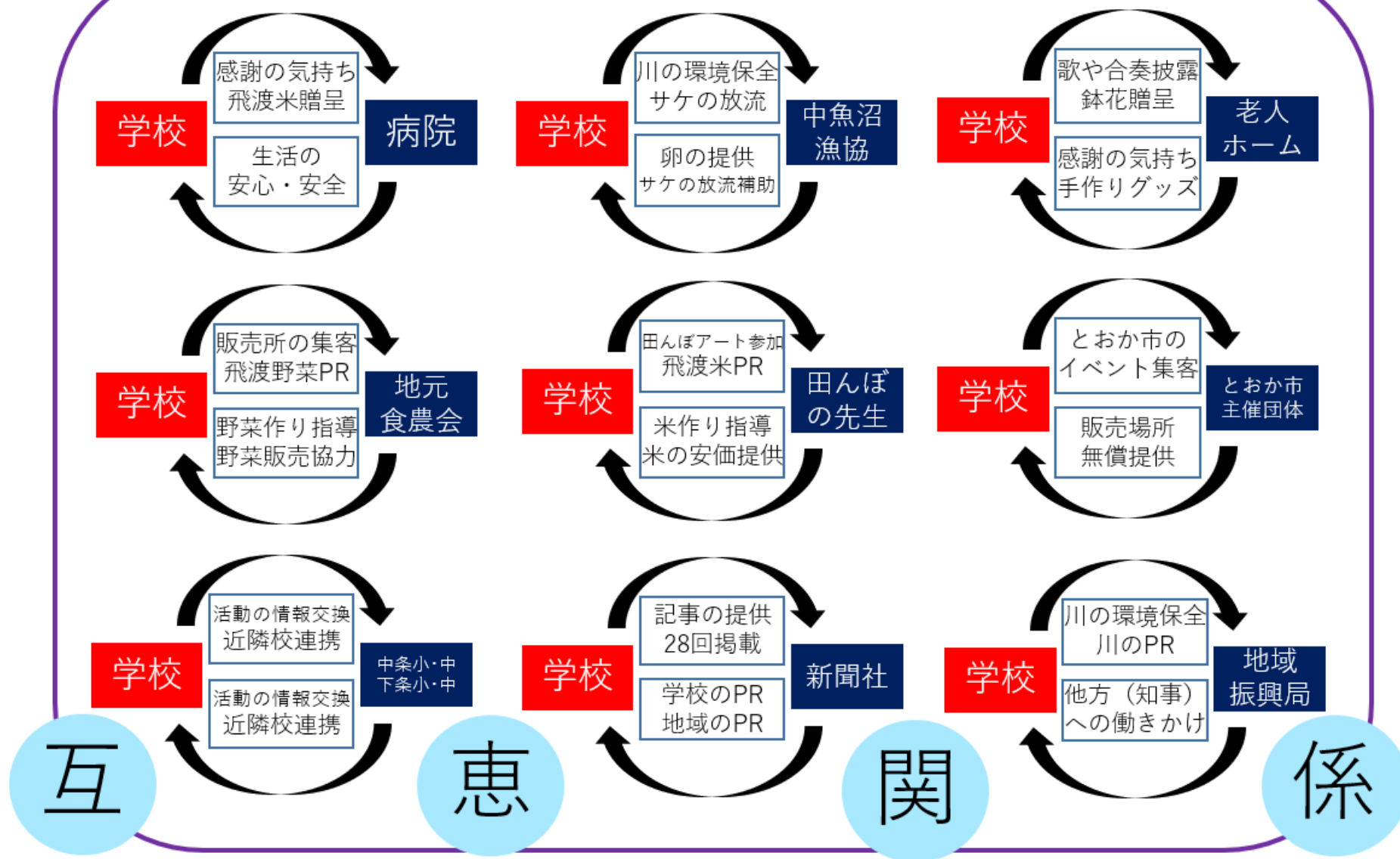
※総合は1年ごとに重点を決めて学習を進める。ブナ林体験、サケの飼育と放流は毎年行う。

※ふるさと環境学習の活動の中からテーマを決め、地域の自然を守る活動(SDGsの活動)としてKWN日本コンテスト(ビデオコンクール)に出品する。

資料①本校が築きあげた循環型サイクル

持続可能な社会をつくるための循環型サイクル

環境保全・地域の活性化



飛渡第一小学校 飛渡川パンフレット作成の進め方案

☞

1. スケジュール

12月上旬 ワークショップ実施→唐突感もあるため実施しない方法もある

12月上旬 第1校作成開始

12月末 第1校完成

1月中旬 原稿修正

1月末 原稿完成

2月上旬 印刷開始・配布

☞

2. ワークショップの内容案（1コマ程度）

第1案：パンフレットの事例を見て、どのような内容がよいのか検討する。

①一番良いと思ったパンフレットは？

②その理由は？→各グループから発表してもらい講師がKJ法でグルーピング

③わかりやすいパンフレットを考えてみよう

→文字ばかりの川の紹介文を見せる

→わかりやすいデザインにするためにはどうしたらよいか発表してもらう

→各グループから発表してもらい講師がKJ法でグルーピング

☞

第2案：これまでの学習を振り返りパンフレット作成の動機づけとする。

①飛渡川のことについて一番伝えたいことは何？

②その理由は？→一人ひとりから発表してもらい講師がKJ法でグルーピング

③パンフレットを考えてみよう

→各グループで②を付箋に記す

→A3用紙2枚（裏表を想定）に貼付けレイアウト案を作成する

④考えた結果を共有しよう

→③の結果とそう考えた理由を発表する。

☞

第3案：パンフレット作成の内容を考える。

※「マップ」と「昔の飛渡川」は記載する前提として下記を考える

①キレイな飛渡川にするために地域の人や大人たちにお願いしたいことは何？

→一人ひとりから発表してもらい講師がKJ法でグルーピング

②お願いしたいことをまとめてみよう

→各グループで①を付箋に記す

→A4用紙1枚に貼付けレイアウト案を作成する

③考えた結果を共有しよう

→②の結果とそう考えた理由を発表する。

日時: 令和2年12月17日(木)14:25～15:10 5限

会場: 飛渡第一小学校

対象: 3年生2名+6年生4名=6名、遠藤先生、佐藤校長先生

ねらい

◎これまでの飛渡川学習を振り返る。

◎飛渡川パンフレット作成の動機付けとする。

時刻	概要	活動内容とねらい	担当者	準備
14:00～14:25	事前打合せ	ワークショップの進め方、本時のゴールの共有	先生 スタッフ	WS道具一式
14:25～14:30 (5分)	①導入	- スタッフ自己紹介。 - 飛渡川のイメージ「きれい、魚がいそう」等を伝えた上で、「私には飛渡川の素晴らしさやがわからない。私みたいな人は十日町にもたくさんいる。だから、みんなから教えてほしい！」と願う。		貼紙「飛渡川の〇〇を伝えたい！」
14:30～14:40 (10分)	②飛渡川の魅力を考える	- 最初に6年生に手を挙げて「〇〇」を発表してもらう。 - 上記を踏まえてふせんに1枚に一つの「〇〇」を書いていく。 - 後ほど発表してもらうこと、その際には理由も一緒に教えてほしいことを伝える。	スタッフ	
14:40～14:50 (10分)	③魅力の共有	- 一人一人から「〇〇」と、そう考えた理由を発表してもらう。 - スタッフが「〇〇」と、そう考えた理由を、模造紙にKJ法でグルーピングしていく。		
14:50～15:00 (10分)	④パンフレットの見本	- 飛渡川のことを伝える一つの方法としてパンフレットがあることを紹介する。 - 川のパンフレットを眺めてみてわかりやすいと感じたことを発表する。 - 発表した内容はスタッフがふせんに書き、模造紙にグルーピングしていく。	スタッフ	川のパンフレット
15:00～15:10 (10分)	⑤レイアウト案作成	- 模造紙1枚をパンフレット2ページ分に見立てて、レイアウトを考えていく。 - タイトル、伝えたいことなどを踏まえて、ある程度スタッフが誘導していく。	スタッフ	

ワークショップ道具一式

- ①模造紙3枚程度
- ②ふせん(大)6名×10枚くらい
- ③マジック→ふせん・模造紙への書き込み用

川のパンフレット

- ①大河津分水ウォーキングマップ
- ②新津川パンフレット
- ③広報つばめ子ども版

学習のねらい

- ◎これまでの飛渡川学習を振り返る。
- ◎飛渡川を伝えることをパンフレットとして形にする。

スケジュール

12月上旬 ワークショップ実施

→唐突感もあるため実施しない方法もある

12月上旬 第1校作成開始

12月末 第1校完成

1月中旬 原稿修正

1月末 原稿完成

2月上旬 印刷開始・配布

ワークショップの内容案(1コマ程度)

第1案:パンフレットの事例を見て、どのような内容がよいのか検討する。

- ①一番良いと思ったパンフレットは？
- ②その理由は？→各グループから発表してもらい講師がKJ法でグルーピング
- ③わかりやすいパンフレットを考えてみよう
→文字ばかりの川の紹介文を見せる
→わかりやすいデザインにするためにはどうしたらよいか発表してもらう
→各グループから発表してもらい講師がKJ法でグルーピング

第2案:これまでの学習を振り返りパンフレット作成の動機づけとする。

- ①飛渡川のことで一番伝えたいことは何？
- ②その理由は？→一人ひとりから発表してもらい講師がKJ法でグルーピング
- ③パンフレットを考えてみよう
→各グループで②を付箋に記す
→A3用紙2枚(裏表を想定)に貼付けレイアウト案を作成する
- ④考えた結果を共有しよう
→③の結果とそう考えた理由を発表する。

第3案:パンフレット作成の内容を考える。

※「マップ」と「昔の飛渡川」は記載する前提として下記を考える

- ①キレイな飛渡川にするために地域の人や大人たちにお伝えしたいことは何？
→一人ひとりから発表してもらい講師がKJ法でグルーピング
- ②お伝えしたいことをまとめてみよう
→各グループで①を付箋に記す
→A4用紙1枚に貼付けレイアウト案を作成する
- ③考えた結果を共有しよう
→②の結果とそう考えた理由を発表する。

私達の飛渡川を守ろう！

1 飛渡川とは？

飛渡川は信濃川の水系です。透視度が高く、見た目はとてもきれいです。飛渡第一小学校は、夏には川遊びをし、春には、サケの稚魚を放流しています。私たちも、地域の人たちも、とても大切にしている川です。



2 調査しよう！

私たちは、飛渡川のことをもっと知りたくなりました。そこで、飛渡川の水質を詳しく調べることにしました。

	COD	DO	透視度
上流	2	9	100
中流	4	8	97
下流	6	6	93

COD…化学的酸素要求量のこと。数値が高いほど川が汚れている。

DO…溶解酸素のこと。数値が高いほど酸素が多く魚がたくさん住める。

透視度…100 cmの長さの筒に川の水を入れて底にある印が見える限界の深さを調べる。100 cmに近いほど川が透明。

水道水として利用できるCODの数値は3以下※

きれいな川にすむ魚に必要なDOの数値は7.5以上※

※生活環境の保全に関する環境基準の類型（環境省）

それぞれの場所を調べてみたら私が思っていたよりも水質がよくなかった。ショック！



飛渡では、下水道がないから、川に直接生活排水が流れこんでいるんだ。



昔から飛渡川はこんな感じだったのかな？おじいちゃんおばあちゃんに聞いてみよう！



どうして汚れているのか調べてみたら生活排水がほとんど原因だった！



飛渡川のピンチ！

今、飛渡川は昔と比べて・・・

ヤマメ、イワナ、ハヨ、ハチヨなどの魚がいていくらでもとれた。

川よけという物があって、魚のすみかになっていた。

大雨になると、橋が流されていた。

昔

魚がたくさんいた。

川岸は土で木などの植物があった。

川の水は歩いて渡れないほどあった。

今

見つけた魚はカジカだけ。

川岸はコンクリートで固められている。

長ぐつをはけば簡単に入れる。

水害がおきにくいようにするためには仕方ない？

水が少ないからサケが上って来られない？

ぼくたちも、昔みたいな魚がたくさんいる飛渡川で遊んでみたいな～
飛渡川が、いつまでもきれいでいてくれるといいな～

そこで

環境にやさしい洗ざいを使ってください。



生ゴミを直接流さないでください。



油よごれは紙などでふき取ってください。



生き物がたくさんいるきれいな飛渡川であるよう、私たちと一緒に環境を守っていきましょう。
ご協力よろしくお願いします。



飛渡川生き物マップ

